



▲第42回羽村市産業祭にて

「春雨（はるさめ）」とは…

春雨は、「春」こと 春日 大輔 (サブリーダー)

「雨」こと 雨倉直也（リーダー）

の二人からなる羽村出身のアコースティックデュオ。二人とも羽村生まれの羽村育ちで、幼稚園から中学校までの同級生。高校卒業後に路上での弾き語りをはじめ、現在に至ります。

誰もが抱いているけど言いたくない世間へのいら立ち、がんばっている人や落ち込んでいる人への応援ソングなど、人間の正直な気持ちをメロディーに乗せて唄っています。

雨倉 僕は、春日くんのリアクションを見て初めてグラランプリを獲得したことに気付き、本当にハッピーな気分になりました。

春日 「人」ですね。老若男女問わず、温かくて、優しいところが好きです。

春日 羽村生まれ、羽村育ち
のはむらっ子として思い出は
たくさんあります。

市長 私も、羽村で生まれ育ちましたので、羽村が好きで、羽村市をもっと良くしようと日々、励んでいるところです。次に、お二人の羽村の思い次に、お二人の羽村の思い出を教えてください。

雨倉 僕はこの羽村という場所に生まれたことにずっと誇りを持って生きてきました。居心地が良いし、優しい人たちがたくさんいる。何より大切な仲間がいる。そんな羽村が大好きです。

来に夢と希望が持てるまちの実現のために、これからも力強く歩んでまいります。

市民の皆様におかれましても、将来の輝かしい羽村市を創造していくために、より一層のご理解とご協力をお願ひいたします。

司会 それでは、対談者のお二人をご紹介します。

羽村出身のギターデュオ、「春雨」の春日大輔さんと雨倉直也さんです。

司会 まず市長、「春雨」のお二人の第一印象はいかがでしょ
うか。

市長 お二人とも新春にふさわしく、とても若々しくてフレッシュですね。

「春雨」のお二人は、毎年、はむら夏まつりに出演し、会場を大いに盛り上げていただいているますが、とても頼もしく感じています。

そして今回は、才能を開花させ、多くのミュージシャンたちとの競争を勝ち抜き、グ

獲得!! グランプリ

司会 お二人とも、とても充実した毎日をお過ごしのようですね。

市長からも話がありました
が、「春雨」のお二人は、昨年10月に開催された「THE部門」竜門6th・ストばふおで、見事グランプリを獲得しました。

グランプリが決まつた瞬間はどんな気持ちでしたか。

の顔を見て、心からホッとした。

雨倉 僕はこの羽村という

も、将来の輝かしい羽村市を創造していくために、より一層のご理解とご協力をお願ひいたします。

市長 お二人とも新春にふさわしく、とても若々しくてフレツシュですね。

「春雨」のお二人は、毎年、はむら夏まつりに出演し、会場を大いに盛り上げていただいているが、とても頼もしく感じています。

司会 お二人とも、とても充実した毎日をお過ごしのようですね。

市長からも話がありました
が、「春雨」のお二人は、昨年10月に開催された「THE 登竜門 6th・ストップふる部門」で、見事グランプリを獲得し

来に夢と希望が持てるまちの実現のために、これからも力強く歩んでまいります。

司会 まず市長、「春雨」のお二人の第一印象はいかがでしょ
うか。

ランプリに輝きました。これからが本当に楽しみですね。



▲表彰式の様子(平成23年10月15日)

「THE 登竜門」とは…

THE 豊電門」とは…
社団法人埼玉中央青年会議所が平成
18年から開催している本格的公開オー
ディション。

ゴダイゴのタケカワユキヒデ氏が審査委員長を務めており、今回、第6代グランプリに輝いた春雨は、10月に行われるタケカワユキヒデ氏が主宰するチャリティーライブへの出演が決まっています。

